

市議会だより



「気嵐(けあらし)」
富山県高岡市 雨晴海岸
撮影 上村 元郎 氏(米町)

平成28年 10月緊急議会
平成28年 12月定例会議会

あんない

10月緊急議会	P2
12月定例会議会	P3～P4
議会の活動状況	P5
議会報告会	P6～P7
討論(議案等に対する意見)	P8～P11
一般質問(個人18名)	P12～P21
豊ヶ岡学園スポーツ交流会	P21
委員会行政視察	P22～P23

表紙写真・絵画募集!

詳細はP3をご覧ください。

編集 議会だより編集委員会
発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)

10月緊急議会

平成28年10月24日に10月緊急議会を開催し、議案3件、動議1件を審議しました。

全会一致で可決した議案等

議案番号	件名
議案94	工事請負契約の締結（水上太陽光発電設備設置工事）
議案95	損害賠償の額を定めること
議案96	平成28年度豊明市一般会計補正予算（第6号）
動議1	特別委員会の設置及び議会閉会中の継続審査
	豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会の委員の選任
	議席の一部変更

総務委員会

議案第96号 豊明市一般会計補正予算のうち、所管部分を全会一致により原案のとおり可決しました。

【審査案件】

繰越金522万1千円
イラスト使用料122万1千円

【主な質疑】

イラスト使用料について、どのような契約内容で、このたびの請求に至ったのか詳しく説明が聞きたい。

補助団体が作成したチラシを市も使用する場合は、市にも責任が生じるのではないか。

補助団体への注意喚起はどのようにしたのか。

【討論の主な内容】

今回の事案を教訓とし、著作権に関するものに注意して、同じようなことが二度と起きないように要望して賛成討論とする。

福祉文教委員会

※全会一致で可決

①草刈り時の飛び石による物損事故の損害賠償額60万4千4百40円

【主な質疑】

賠償金額は適正か。

同様の事故が繰り返されている。指導の仕方は。

【賛成討論】

物損で不幸中の幸い。

草刈り機の扱い方の徹底を要望し、賛成。

②認可保育所（小規模保育の対象児0歳～2歳）整備補助金1千2百万円

【主な質疑】

議会の議決後の流れは。
3歳児以降の保育園受け入れは大丈夫なのか。

【討論の主な内容】

平成29年度から認可保育所は3園新設、定員は57名増える。迅速な対応を評価。今後も続く待機児童解消策の進め方（事業所の募集のかけ方等）を、しっかりやっていただくことを要望する。

建設消防委員会

※全会一致で可決

工事請負契約の締結

【主な質疑】

制限付き一般競争入札にした理由は。

落札業者の水上太陽光、陸上太陽光発電の実績は。

環境への影響は。

若王子池堤防の耐震性は。

パワーコンディショナーの設置方法は。

フロート部材と太陽光パネルのメーカーは。

入札参加表明後に辞退をした業者の理由は。

風水害や地震に対する保険は。

天候不順による日照不足に対する保険は。

【討論の主な内容】

落札業者に水上太陽光発電の施工の担保を取っていないのは気になる。性能充分な設置機材を選んで欲しい。

見落としによる追加費用がないように要望する。

◎動議第1号 特別委員会の設置及び議会閉会中の継続審査について

本会議中、議員より動議が提出され、審議の結果、可決しました。

1 豊明市議会に次のとおり特別委員会を設置する。

名称

豊明市議会議員定数・報酬検討特別委員会

付託事項

(1)議員定数に関する事

(2)議員報酬に関する事

定数

20名

2 この特別委員会は、調査終了まで存続し、議会閉会中も調査を行うことができるものとする。

委員長 杉浦 光男
副委員長 村山 金敏

12月定例会議会

12月定例会月議会は、平成28年11月29日から12月21日までの23日間にわたり開催し、議案19件、請願1件、陳情1件などを審議しました。

人事案件

◎人権擁護委員候補者の推薦
（敬称略）
東 弓子委員の任期満了（3月31日）に伴い、後任に次の方を推薦することに決定しました。
（任期は3年）
五味 一子
（沓掛町）

請願

◎介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願
平成28年12月21日
不採択

陳情

◎国に対して「保育士等の賃金と配置基準の改善を求める意見書」の提出を求める陳情
平成28年12月21日
趣旨採択

請願・陳情と傍聴

皆さんの希望や意見を直接、市政に反映させるための手段として、請願書や陳情書を議会に提出することが出来ます。

■請願及び陳情の提出方法
請願書・陳情書は、市政についての要望等を簡潔に記載し、提出年月日、提出者の住所及び氏名（法人の場合は、その名称及び代表者の氏名）を書き、押印したものを議長に提出することになっています。

請願書を提出する際に

は、1名以上の議員の紹介が必要です。（陳情書には、紹介議員は不要です）
請願書・陳情書は、事務処理の都合により各定例会月議会の初日の7日前（市の休日の場合は、その前日）までの提出にご協力ください。

■傍聴の受付

本会議又は委員会開催時間の20分前から受け付けを開始します。
受付開始の時点で傍聴の定員（本会議48名、委員会15名以内）を超えた場合は、原則として抽選により傍聴者を決定します。抽選にもれた方は、別室のモニターにて傍聴することが出来ます。

■請願及び陳情の陳述

請願者及び陳情者が希望する場合、審査する委員会において、補足説明を行うことができ、会議録に記録されます。

表紙写真・絵画・イラスト募集！

豊明市内在住・在学・在勤の方から、表紙を飾る写真・絵画・イラストを募集しています。

宛先：豊明市議会事務局 議会だより表紙作品募集係
メール：gikai@city.toyoake.lg.jp
住所：〒470-1195 豊明市新田町子持松1番地1

ご応募
お待ちしております！

氏名・住所・電話番号・写真の場合撮影場所、日時・作品のタイトルと説明を明記の上、お送りください。

ご自身が撮影、制作された、他の場で受賞していない作品に限ります。

顔がはっきり分かる人物が写っている場合は本人（未成年者の場合は親権者）の許可を得てお送りください。

季節感のある作品の場合、掲載時期をご配慮ください。次号5月1日発行分の締切は3月24日です。作品選考は議会だより編集委員会が行います。

作品は原則としてデータでお送りください。メールに添付される場合は5MBまでです。現物の場合、返却のための発送はいたしませんので、掲載日から2カ月以内に引き取りにお越しくください。以降は処分させていただきます。

※詳しくは豊明市議会のホームページをご覧ください。

平成28年議会の活動状況

●議会活動の概要

平成24年4月1日より豊明市議会基本条例が施行され、通年議会を実施しています。平成28年5月13日から平成29年4月28日までの351日間が平成28年定例会の会期となっています。このほかに「議会運営委員会」や「全員協議会」なども随時開きました。

また、議会で審議した議案は、市長提出案件が128件、議員提出案件が6件であり、提出された請願が1件、陳情が2件でした。

1. 本会議開催状況

会 議 名	議会期間	日 数	本会議日数	傍聴者数
3月定例会議会	2月25日～3月24日	29日	8日	78人
4月緊急議会	4月18日	1日	1日	0人
開 会 議 会	5月13日	1日	1日	0人
6月定例会議会	6月6日～6月28日	23日	8日	37人
7月緊急議会	7月29日	1日	1日	1人
9月定例会議会	8月29日～9月26日	29日	7日	39人
10月緊急議会	10月24日	1日	1日	2人
12月定例会議会	11月29日～12月21日	23日	7日	37人
合 計		108日	34日	194人

2. 委員会等開催状況

委 員 会 名	開 催 数
常 任 委 員 会	27回
特 別 委 員 会	9回
議会運営委員会	29回
全 員 協 議 会	13回
会 派 会 議	20回
常任・特別委員会 行政視察	9日
そ の 他 の 会 議	71回

3. 議決状況

市 長 提 案		
地 方 自 治 法 第96条関係 (15号を除く)	条 例	62件
	予 算	35件
	決 算	9件
	そ の 他	5件
専 決 承 認 案 件		0件
そ の 他（人事案件等）		17件
合 計		128件
議決状況	可 決	111件
	修 正 可 決	0件
	否 決	0件
	認定・同意等	9件
	撤 回 承 認	4件
	継 続 審 査	0件

※合計と議決状況が合わないのは、撤回が4件あるため。

議 員 提 案		
条 例		2件
規 則		0件
修 正 議 案		1件
意 見 書		2件
決 議		0件
そ の 他 (動 議)		1件
合 計		6件
議 決 状 況	可 決	5件
	否 決	1件

12月定例会議会議案等の審議結果

全会一致でない議案等の賛否

○：賛成 ×：反対 趣：趣旨採択

議案等番号	会 派 名	新風とよあけ					ひまわり				公明党 市議団	市政改 革の会		緑の風								
	議 員 名	富 永 秀 一	後 藤 学	宮 本 英 彦	ふ じ え 真 理 子	近 藤 善 人	杉 浦 光 男	鶴 飼 貞 雄	毛 受 明 宏	近 藤 郁 子	三 浦 桂 司	近 藤 千 鶴	一 色 美 智 子	早 川 直 彦	山 盛 さ ち え	近 藤 裕 英	蟹 井 智 行	郷 右 近 修	清 水 義 昭	月 岡 修 一	村 山 金 敏	
	件 名																					
議 案 1 0 1	豊明市堆肥センター条例の廃止	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議 長	○
議 案 1 0 2	豊明市職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○
議 案 1 0 7	豊明市文化会館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○
議 案 1 0 8	豊明市農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○
議 案 1 0 9	豊明市農村環境改善センター条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○
請 願 1	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	
陳 情 2	国に対して「保育士等の賃金と配置基準の改善を求める意見書」の提出を求める陳情	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	×	趣	趣	

※陳情2は趣旨採択について採決した結果であり、×の議員は採択又は不採択の意思表示はしていません。

報告及び全会一致で可決した議案等

議 案 番 号	件 名
報 告 1 1	専決処分事項の報告（損害賠償の額の専決処分）
議 案 9 7	人権擁護委員候補者の推薦
議 案 9 9	豊明市職員の給与に関する条例の一部改正
議案100	豊明市債権管理条例の制定
議案103	豊明市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
議案104	豊明市税条例等の一部改正
議案105	豊明市国民健康保険税条例の一部改正
議案106	豊明市障がい児特別支援療育事業の実施に関する条例の一部改正
議案110	豊明勤労会館条例の一部改正
議案111	平成28年度豊明市一般会計補正予算（第7号）
議案112	平成28年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案113	平成28年度豊明市下水道事業特別会計補正予算（第4号）
議案114	平成28年度豊明市農村集落家庭排水施設特別会計補正予算（第1号）
議案115	平成28年度豊明市介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案116	平成28年度豊明市一般会計補正予算（第8号）
	議員派遣の件

※議案第98号は取下げを許可しました。

議会報告会 2016

平成28年11月19日（土）

参加者 第1部35名 第2部15名

会 場 中央公民館

ご来場ありがとうございました。

第1部「常任委員会・協議会報告」、第2部「ご意見を伺います」について報告いたします。

第1部 常任委員会・協議会報告

【報告した内容】

総務委員会

- ① ふるさと寄附金制度
人件費の推移
- ② 市役所出張所の移転

福祉文教委員会

- ① 大学等入学支援金制度
- ② 病後児保育「えがお」
豊明団地内に開設
- ③ 小規模保育事業
- ④ 避難者行動要支援者の名簿作成

建設消防委員会

- ① 水上太陽光発電関連
4議案可決
- ② 市道桜ヶ丘沓掛線築
造工事費約1億円増額
- ③ 下水道料金改定
- ④ 空家対策関連事業
- ⑤ 定住促進関連事業

議会改革推進協議会

- ① 議会改革度ランキン
グで初のランクイン
- ② 議会だより改革中
- ③ 議員定数、議員報酬
- ④ 議会―丁化
- ⑤ 議会基本条例見直し
- ⑥ 災害時の議員の役割
- ⑦ 子ども議会

第2部 ご意見を伺います

【参加者からいただいた主なご質問・ご意見など】

●水上太陽光発電で環境や水質は安全ですか。また、管理はどのようなになりますか。

●今後、売電価格はかわらないでしょうか。20年間の実績がないので心配しています。

●水上太陽光発電は良いところばかりが見えていますが、事業を開始すると問題が起きるものですか。本来、発電事業を行政がやるべきことかの議論が必要であります。

必要であります。

●ふるさと納税で、本来、市に入るはずの税金がどれだけ流出していますか。

●待機児童の解消には目標を定め、策を講じる必要があります。待機児童を解消する目標はありますか。

●市役所出張所の移転について、委員会で議論はなされたのですか。

●北部の開発で工業団地を造ることの議論をしたのですか。

●県道名古屋岡崎線をどのように考えていますか。

●北名古屋市は名古屋市の合併について協議していますが、豊明市も合併について協議をしていますか。

●昨年、第2部は3つに分かれましたが、今回、全体で行なわれました。身近な問題を聞きたい人は、第1部で帰ってしまったと思います。

●各会派でもテーマを決

めて市のビジョンなどを分析する必要があります。

●市民に訴える中身を考えて、選挙で戦ったように本気で報告会に取り組みないと参加者が少なくなります。

●今日の報告会は参加された方々から何を聞いたのかわかりません。議案に賛成・反対を報告して何になるのですか。

●議会のあるべき姿を考えて改革してほしいです。



【アンケート(自由記述)の中から】

◎全議員で2部を実施したことに賛成です。

◎具体的な行政サービスや活動についての話があった点は良かったです。

◎明るい会場で雰囲気は良かったと思います。

◎配布資料がわかりやすく、見やすかったです。

◎市政についていつも噂だけを聞いていましたが、深く聞けて良かったです。

◎報告会の内容は良いと思います。但し、議員として議会改革の目標が見えません。また、議員同士の議論が出来ていないと思います。

◎総務委員会のふるさと納税の説明がわからなかったもので、もう少しわかりやすく説明してほしいです。

◎パワーポイントの表やグラフは見やすかったです。文字の大きさ・文字数・行間の幅などを検

討してほしいと思います。

◎夜の開催でなく、土曜日もしくは日曜日の午後には十分な時間をとってほしいと思います。

◎政務活動費を広報で公表してほしいです。

◎議会として豊明市のビジョンや目標計画に対してどう考えているのかわかりません。例えば、待機児童の件は、いつか人になる計画なのですか。

◎議会報告会の参加者があまりにも少なかった。区長・町内会長・各種関係団体などの方々に議会活動のあり方を理解していただき、多くの方々が参加できるように対策を考えてほしいです。

◎議事の進行の仕方が上手でなかったです。

◎入札結果について落札率100%のものがあり、他の入札でも95%以上のものも多く見られます。

◎質問された一部の方に對して、議会にも足を運



議会報告会の詳細については議会ホームページに掲載しています。

豊明市議会 議会改革推進 協議会

議会―丁化について

12月定例会議会より、議場にパソコンやタブレットの持ち込みを試行することになりました。

有効に使うことができるか検証中です。

豊明市議会の公式YouTubeチャンネルができました。

本会議中の様子をライブおよび録画中継でご覧になれるようになります。なりまし



豊明市議会公式YouTubeチャンネル

政務活動費の要請・陳情活動の報告について

政務活動費に要請・陳情の項目が追加されましたが、内容についての報

告書は必要としていませんでした。

議会活動をより知っていただき、政務活動費の透明性を高めるため、報告書を提出することになりました。

災害時における議員の役割について

災害時に、議員が個別に問い合わせ等をする、災害対応に支障をきたす可能性があることから、連絡窓口を一本化することなどを柱とした、豊明市議会災害対応マニュアル(案)を検討資料にして、さらに協議を深めていきます。

※その他、子どもたちに市政について意見を言う機会を保障し、市政について理解を深めてもらうため、子ども議会を開催することになりました。今年夏の開催をめざし、分科会を作って、準備を進めています。



議案等に対する

討 論

（議会の最終日に各会派等の意見を代表して賛成・反対討論を行いました。）

◆新風とよあけ◆

堆肥センター条例の廃止に【賛成】・【反対】
豊明市一般会計補正予算(第7号)に【賛成】

★堆肥センター条例廃止

【賛成討論の要旨】

東部知多クリーンセンターの新焼却炉等の負担金が3億から6億になる。有機循環事業は否定するものではないが、毎年3千4百万の赤字を補てんし続け、更に2万8千世帯の内、8千世帯しか対象にならない事業に対し市民の理解は得られない。

【反対討論の要旨】
有機循環事業は家庭でのごみ堆肥化や減量に限りがあり始まった。副次的効果も含めた総合的な評価がなされていない。市民アンケートもとらず、議決前に廃止の周知をするなど決定過程も問題。大事なことも市が決め、市民には知らせるだけでは市民協働が崩壊する。

★豊明市一般会計補正予算(第7号)について

①工事は予算内で実施すべきとの意識が薄い。文化会館大小ホール客席天井等改修事業2億4998万円（債務負担行為）が増額にならないことを強く要請する。

②豊明・栄・沓掛中学校の飛散防止フィルム設置工事設計委託料193万8千円の件。一昨年も昨年と同じ飛散フィルム工事に対する設計委託料を支払っている。一括発注し複数年かけて工事すればスケールメリットが発揮でき、経費削減できるはずだ。新年度予算編成に際しては、過去にとらわれない発想でコスト削減に向けた豊明大改革の実践を強く要請し、賛成。

◆ひまわり◆

議案第1111号 平成28年度豊明市
一般会計補正予算(第7号)に賛成

今回の補正予算は歳入歳出それぞれ14億3141万7千円を加え予算総額213億2059万7千円となりました。

成人病診断等委託料1756万2千円は内視鏡検査が可能になったことや胃・肺・大腸がん検診等各種がん検診の増加が要因ですが、医療費増加に歯止めをかける予防事業としても評価します。

とよあけ花マルシェプロジェクト委託料345万円は、まちの発展に繋がる事業です。国の地方創生推進交付金の認定を受けたようので、補助金獲得に向けた市担当課の努力を高く評価します。

財政調整基金積立金は4億3107万円を積み29億2088万1千円と

なります。財政調整基金は30億円を切らない事を目標に進められているようで、今回その目標に限りなく近づいたことは財政を預かる方々の努力の結果ではないでしょうか。大震災など有事の際への備えからも、出来る限り積み立てておく必要があると思います。

2億4998万円の文化会館大・小ホールつり天井改修工事の債務負担行為は、大震災等発生した際、天井崩壊の危険性があるため、早期契約を行い、早い工事に切り掛かるよう強く要望します。

補正予算の執行はもとより、債務負担行為は、先を見据えしっかりと事業を遂行していただくことを注視し賛成とします。

◆公明党市議団◆

議案第1111号
一般会計補正予算に賛成

予算額は歳入歳出それぞれに14億3141万7千円を追加し、213億2059万7千円となるものです。

今回の補正予算の特徴は、市の将来を考えた基金の積立、増加する福祉関係経費の適切な予算措置及び、しっかりと予算の裏付けをもって施策を進めるための債務負担行為の設定であります。

財政調整基金の4億3107万円の補正により、基金残高は29億2088万1千円、公共施設基金は5億円の増額で11億6万6千円となります。

30億円を下回ることなく積立てることは必要であります。

3款民生費の補正額は4億4382万7千円で

あり、補正全体の31%になり基金費と合わせて補正額の96%にのびります。債務負担行為は事業に対する当局の丁寧な対応が感じられました。

小中学校英語指導業務委託事業は、早い時期から事業が開始するための計上であると理解します。

文化会館大小ホール客席天井等改修事業は、早期契約をするため、業者サイドが入札に参加しやすい環境が創出されます。

次年度に向けての市内3カ所目の地域包括支援センター開設のための繰出金や農村改善センター施設有効利用のための工事費の計上など、厳しい財政状況のもとではありますが、必要なものと理解し、賛成とします。

◆市政改革の会◆

市債権管理条例・堆肥センター廃止について、要望を付して賛成

税の公平性の点から、債権管理の適正化は重要。未納や滞納を減らすには発生原因の解消が不可欠と考える。

解消策としては、支払い能力がある滞納者への強制徴収や滞納整理、生活困窮による滞納者への生活再建サポートの両面が必要である。

当局には生活困窮者支援の視点が弱かったことから、委員会ではその必要性は語られたものの、口約束ではなく、確実に実行させるため、次の3点を要望した。

①庁内の滞納情報を共有するため組織作りを。
②債権放棄の基準づくりと審査会の設置を。
③生活再建に向けた支援のための仕組みの構築を。

堆肥センター廃止により、生ごみ堆肥化が終わる。市民アンケートでも評価は高く、降ろす訳にはいかない有機循環の看板事業をコストのみを理由に捨てることにやり切れなさが残る。

コスト最優先というのなら、廃止すべき事業は他にもある。市民への説明や周知もPDCAも置き去りに意思決定し「スピード感」と言われても、違和感を覚える。

とはいえ、回収量は減る一方、漫然と継続するのなら廃止も致し方ない。二酸化炭素・地球温暖化の抑制は、平和な社会を築くことと同じくらい世界が最優先すべき事項。生ごみ堆肥化に匹敵する代替策の考案を要望する。

◆緑の風◆

豊明市文化会館条例の一部改正に賛成 平成28年度豊明市一般会計補正予算(第7号)に賛成

これから文化会館を指定管理業者に管理させていくことになるわけです。民間の活力やノウハウを活かして、サービスの向上、質の向上を期待し、市民の方の利用率を上げるんだということでした。民間に指定管理させるなら、ぜひ、レストランも運営できるような民間業者に管理をさせていただきたいと思います。魅力ある文化会館にすることが、利用率の向上につながると思います。市民の誰もが文化会館へ遊びに行きたいと思うような場所に改善されることにつながる民営委託化への転換だと期待して、議案第107号豊明市文化会館条例の一部改正について賛成いたします。

本会議一般質問で話したように、平成32年度から小学校の5年生と6年生で英語科の授業が始まるのです。今までと同じようにネイティブなALTに触れさせようと思うと現在の委託内容の4人プラス市の直接雇用での1人の合計5人体制では、不十分ではないでしょうか。32年度の英語科新設からALTを増員すれば良いのではなく、英語の学習内容が判明したら速やかに、そして、これまで以上に充実した環境整備に臨機応変に対応していただくことを要望して、第111号平成28年度豊明市一般会計補正予算(第7号)について賛成の討論いたします。

◆日本共産党◆

堆肥センター廃止と文化会館条例の一部改正に反対 勤労会館条例の一部改正に賛成

堆肥センターとその事業が分別収集など市民の参加を得て10年続いてきたのは、市民が地球環境を守って住み続けたいまちを実現したいからだと思います。今後の費用負担を理由にした事業の廃止は循環型社会の取り組みが後退してしまうので、堆肥センター条例の廃止に反対です。文化会館条例の一部改正は文化会館を指定管理化し、民間の企業やNPO等の参入を可能にするものです。収

入増を目的に管理者が自主事業を増やし、住民が使う機会が減って地域の担い手を育てることが妨げられる恐れがあり反対です。勤労会館条例の一部改正は3カ所目の包括支援センターの設置が目的なので賛成です。ただ、廃止される会議室は利用頻度が高いので、代替施設の整備をすることを要望します。

◆清澄◆

生ごみ堆肥化事業の廃止、および 平成28年度一般会計補正予算に賛成

今後、堆肥センター事業を続けていくには、年間約3000万円という多額のランニングコストが必要で、さらに老朽化した機器の更新により約4000万円が必要となる。厳しい財政見通しを

考慮すれば、廃止という決断は、必要不可欠であったと言える。事業廃止に伴い不要となる経費は、自浄努力を行った部門に一部還元しても良いかと感じる。事業を廃止する際には、それまでご協力

していただいた方々への感謝の気持ちを忘れないようにしていただきたい。一般会計補正予算において、とよあけ花マルシエプロジェクトを開始することのことが、エディブルフラワーの生産や、ブランド商品数、地方創生に効果があったかなどの評価を適正に行い、早い段階で事業の是非を見極めていただきたい。

◆無所属の会◆

議案第116号 平成28年度豊明市一般会計補正予算(8号)に賛成

第5次総合計画では、平成37年に将来人口を7万1千と掲げているが、27年国勢調査で本市の人口は減少に転じ将来に向け不安を感じる。その中今年は二地区での土地区画整理事業は当市には明るい兆しである。当局も予算や人材を投入するように努めてほしい。留意してほしいことは、新たな住まいの場は、公共施設が整った駅や市役所等街づくりの中心の場

から歩いて行ける範囲を目安とし、やたらと広げることほしくないように。農業振興との調和がとれた土地利用を考え、治水対策等の防災面とあわせ、緑豊かで住みやすい豊明の魅力と個性を活かした街づくりを進めるようにしていただきたい。これらの点を踏まえ、計画的かつ積極的に市街化整備を進めていただきたいと願う賛成とする。



上松町・豊明市友好自治体議員 合同研修会を開催しました

平成28年11月16、17日の両日、「上松町・豊明市友好自治体議員合同研修会」を開催しました。上松町からは、議長はじめ議員の皆さん、副町長等、豊明市は議長はじめ全議員、市長・副市長・教育長・全部長が参加しました。

1日目は、意見交換会の前に、議場を見学され、大型モニターやカメラの操作方法などの質問を受けました。



意見交換会では、通年議会のメリット・デメリットや災害時の議員の役割、普段何気なく飲んでいる水の大切さを学ぶ教育の必要性などの意見交換を行いました。また、豊明市内で開催されている「地域サロン」に興味を持たれ、上松町の特産品の「アンテナショップ」の実現に向けての提案もありました。

2日目は、豊明団地自治センター会議室で、藤田保健衛生大学医学博士・理学療法士である都築晃氏による地域包括ケア中核センターなどの取り組みについての講義を聴きました。そして、豊明市・藤田保健衛生大学・UR都市機構が包括協定を結び実現したURの空き店舗を利用した「まちかど保健室」、病後児保育室「えがお」を



都築晃氏による講義の様子

今後ますます両自治体の発展、そして友好が深まるようお互いの意思を確認し合いました。

一般質問

子どもの権利を守る体制づくりの充実を求めて 公共サービス提案制度の導入を 他

ふじえ 真理子 議員



- 問** 本市における子どもの貧困・格差、暴力、虐待、いじめ、不登校についての実態は。
- 答** 子どもの貧困と格差は18歳未満の子どもがいる生活保護世帯が22世帯、生活保護相談件数は6件（共に9月末時点）、子ども同士の暴力が12件、虐待は73家庭121人の児童、いじめは10月現在55件、不登校は10月現在で小中学生51人（前年度に比べ21人減）。
- 問** ひとり親家庭への支援で、児童扶養手当の受給件数と推移は。
- 答** 1カ月あたり大体437人が受給。年々微増。
- 問** 離婚届を窓口に取りに来た時、子ども養育プランや養育に関する合意書を参考用書式として一緒に渡してはどうか。
- 答** 今後検討していきたい。
- 問** 子どもの権利を守る「子ども条例」の制定を。現時点では検討している。
- 答** 現時点では検討していない。他市の動向を参考に研究していきたい。
- 問** 公共サービス提案制度の導入を。
- 答** 職員からの提案だけでなく、民間側から知恵やアイデアを提案できる制度・窓口を設置しては。
- 問** 公民連携の重要性は認識している。今すぐは考えていないが情報収集に努め研究していきたい。
- 問** 木曽川水源環境を守るためにできること。上松町との交流を深めながら。
- 答** 友好自治体である上松町の間伐材の有効利用について、本市の考えは。上松の方がお考えいたなくほうがよいと理解している。
- 問** 小中学生の名札や、公共施設改修を今後進めていく時には、木材利用を検討していく考えは。
- 答** 値段や耐久性のことを考えると難しい。

一般質問

行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について18名の議員が質問に立ちました。その内容については次のとおりです。（文責は各議員にあります。）

一般質問

生ごみ分別収集の終わり方は、これでよかったか？ 区に貸し出す自主運行バスとは？

後藤 学 議員



- 大狭間湿地の保全を**
- 問** この湿地にはシラタマホシクサなど貴重な動植物が生育する。買収する意思はあるか？
- 答** 市制45周年の平成29年度に、該当地を購入する予定である。
- 問** 水源の周辺樹林地が開発されると絶滅してしまう。樹林地をどう保全していくか？
- 答** 区画整理事業の際に緑地の一部として保全すること想定している。
- 問** 区画整理できない場合、都市緑地、自然環境保全条例等ほかにも方法はある。検討したか？
- 答** 水源の調査をし、検討している。
- 生ごみ分別収集の終了について**
- 問** この事業を始めた時、CO₂削減で地球温暖化防止、堆肥を使って地産地消など七つの目標を掲げたが、終了を決めるまでにどの
- 問** 中学校のタブレット問題です。中学校にタブレット端末がなければ、小中一貫という点から意味がありません。中学校にタブレット端末を導入すべきです。ほかから予算を回しても予算化してくださいます。いかがですか。
- 答** ICTの推進には多額の予算が必要です。これからの教育には必要であると認識しています。ICT教育推進委員会の意見を聞いて、どう対応していくか決めたい。
- 問** 豊明市の学力を向上させたいなら教員補助の方の勤務時間を延長すべきだと思えます。教育長の考えは。
- 答** 学力の向上は非常に重要な課題であると認識しています。数ある課題の中で、いじめや不登校は最優先で取り組むべき課題と認識しています。まずは養護教諭の充実などをやってまいりたい。
- よつな評価をしたか？**
- 答** ごみ処理費用を減らす必要がある。有機循環事業からはなくなる。
- 問** 評価に市民はどのように参加したか？
- 答** 区長、団体に説明した。ただ、今回のやり方がいいかは検証したい。
- 問** 事業仕分けで「継続」の結論だったが、一般市民にも説明したか？
- 答** 説明はしていない。
- 地域交通について**
- 問** 区に貸し出すバスの地域での運行には経費もかかる。財政支援は？
- 答** 市の負担は考えていかなければと思っています。
- 問** 車も運転できない人の利用には、デマンド方式も有力な選択肢になると思うが？
- 答** 可能だと思っている。
- 問** 介護保険の訪問型サービスD移動支援に位置づけるか？
- 答** 介護予防などとして可能である。

一般質問

新学習指導要領実施に向けた準備等について 豊明市の教育に関する諸課題について

蟹井 智行 議員



- 問** 小学校の5年生と6年生で週2時間、英語科の勉強が始まります。本市には、英語を指導できる先生が中学校、小学校に何人いますか。
- 答** 英語の免許状を有している中学校教諭は13人、小学校教諭は9人です。
- 問** 愛知県の公立高校の英語科教員の英検準1級以上程度を取得している先生の割合と公立中学校の英語科教員の取得率をご存知ですか。
- 答** 公立高校の英語科教員の取得率は53・5%、公立中学校の英語科教員の取得率は34・5%です。
- 問** 豊明市の英語科の先生の取得率は何%ですか。
- 答** 27・3%です。
- 問** 英検準1級程度以上を取得するための受検料を補助してあげませんか。
- 答** 費用の助成は難しい。自己啓発で進めていただけたらなと考えます。
- 教育に関する諸課題**
- 問** 中学校のタブレット問題です。中学校にタブレット端末がなければ、小中一貫という点から意味がありません。中学校にタブレット端末を導入すべきです。ほかから予算を回しても予算化してくださいます。いかがですか。
- 答** ICTの推進には多額の予算が必要です。これからの教育には必要であると認識しています。ICT教育推進委員会の意見を聞いて、どう対応していくか決めたい。
- 問** 豊明市の学力を向上させたいなら教員補助の方の勤務時間を延長すべきだと思えます。教育長の考えは。
- 答** 学力の向上は非常に重要な課題であると認識しています。数ある課題の中で、いじめや不登校は最優先で取り組むべき課題と認識しています。まずは養護教諭の充実などをやってまいりたい。

一般質問

消費者教育の充実について 公共交通網形成計画について

近藤 千鶴 議員



- 問** 小中学校において消費者教育についての現状と課題について。
- 答** 本年度の全国学力学習状況調査の結果から、携帯電話やスマートフォン所持率は、小学6年生59・80%、中学3年生81・50%。この現状を踏まえインターネット、スマートフォンをめぐるトラブルがないように、正しく活用することの重要性を繰り返し指導している。
- 問** 高齢者に対する消費者教育、啓発についての現状と課題について。
- 答** 本年度は出前講座を5回実施、新しい手口や巧妙化する従来の手口の中で、スピード感を持ち継続的に啓発をしていく。
- 問** 消費者教育の推進と計画の推進状況について。
- 答** 愛知県消費者行政推進計画に歩調をあわせる形で消費者教育の推進を行っている。消費者生活センターを平成29年10月開設に向け準備している。
- 問** 公共交通網形成計画について。
- 答** アンケート結果から課題整理を行い、計画の案を策定。次年度は、計画を完成し、その計画に基づき地区別ワークショップを開催する。その後、ひまわりバスの路線見直しや、乗り合いバスの整備をする。若王子・山新田地区の小学生の下校課題解決のため、学校・保護者の方と意見交換を行っている。下校時にスクールバスを検討している。

一般質問

①入札制度改正の実績と効果について問う ②補助団体への補助金の査定方法について問う

早川 直彦 議員



- 問** 入札制度改正の実績と効果について問う
- 問** 市役所1階市民コーナーにある工事入札結果閲覧簿に、設計金額と最低制限価格が公表されたものが1件あり、入札制度の信頼性を失う大きなミスがあった。対策は？
- 答** 大切な情報が出されたことはまずいことである。マニュアルを作成し、ミスを減らしたい。
- 問** 入札制度の見直しにより、入札不調・不落を減らせたのか？
- 答** 平成24年度から26年度までは、入札全体の約14%から33%であったが、27年度から28年11月1日までは約10%で、効果があったと考えている。
- 問** 平成28年度の飛散防止フィルム設置工事の変更契約に、設計図書等現場に不一致とあるが、設計業者の指導・監督はどのようにしているのか？
- 答** 設計業者はかなり専門的な知識をもっており、そこに指導するのは難しい部分もあるが、担当部署の職員が確認しながら進めていくことが基本と考えている。契約変更は見えない部分の変更で、施工業者の専門的な目で見ることが一番必要である。それが、安心・安全につながると思っている。
- 問** 平成27年度、130万円から250万円以下の入札は25件で、そのうち、落札率100%が8件あった。今年度、12件の入札のうち、100%は1件もない。仕様変更したところがあるのか？
- 答** 変更した点はない。
- 問** 補助団体への補助金の査定方法について問う
- 問** 各種補助団体の査定は、誰が実施しますか？
- 答** 誰かというわけではなく、担当している部署の担当者が相手団体から聞き取り、部署の中で係長・課長が検証している。

一般質問

防災・減災対策について 食育のさらなる推進について LGBTの理解促進・支援について

一色 美智子 議員



- 問** 本来に困っている災害弱者ほど孤立し、声を上げにくい、福祉避難所の周知について伺う。
- 答** 実践的な訓練を行い周知に努めてまいりたい。
- 問** 暑さ寒さ対策で、市内に冷暖房用の電化製品が確保できる家電業者もあるが、協定を結び災害時に備えてはどうか伺う。
- 答** 研究していきたい。
- 問** 児童生徒用の備蓄品を準備してはと考える伺う。
- 答** 防災担当部署と相談し、検討をしていきたい。
- 問** BCP（事業継続計画）の策定について伺う。
- 答** 現在は未策定。29年度に各課と連携をとり、策定していきたい。
- 問** 食育のさらなる推進について
- 問** 若い世代の朝食欠食の割合が高い。食生活の重要性をPRする事が必要と考える伺う。
- 答** 食に関する情報や取り組みが十分に届いていない。若い世代に合った方法、内容で情報発信することが大切。
- 問** ヘルシーレシピは現在HP・広報に掲載されている。PRを兼ね市役所食堂でランチとして提供してはと考える伺う。
- 答** 導入等について関係者と検討をしていきたい。
- 問** LGBTの理解促進・支援について
- 問** 職員・市民の理解度、理解を深める取り組みについて伺う。
- 答** 理解はまだ低い。研修会等に参加し、知識の向上に努めたい。
- 問** 同性パートナーシップ証明書の制度について考える伺う。
- 答** 慎重な対応を考え、差別をなくすこと等、啓発に努めていきたい。
- 問** 小中学校職員向けのパンフレット、DVDの活用について伺う。
- 答** 周知、紹介をして各学校で活用してほしい。

一般質問

超高齢社会の備えを急げ！消費税3%分で介護予防を充実せよ！ 学校統廃合はアセットや宅地開発の動きを見て判断を！

山盛 さちえ 議員



- 問** 超高齢社会の到来に向け準備は進んでいるか
- 問** アンケートで順位の高い、生活支援のスタートが遅いのではないのか？
- 答** 高齢者が集まる場所を増やし、顔の見える関係を作り、自発的に支えるという方々を作っていく方向で進めている。
- 問** 他市は週3回のサロン開所で、年間24万円、家賃補助もあるが。
- 答** あくまでも地域の方々に自主的に考え動いてもらう。市は最低限のサポートをする。ただし、こうした活動を広めることには力を入れたい。
- 問** 地域支援事業の上限と実際の事業費の差は？
- 答** 1、2千万円下回る。
- 問** 地方消費税交付金のうち、社会保障財源は5億9700万円。予防事業に活用してはどうか？
- 答** 市の財源自体限られているので、新たな介護予防は考えていない。
- 問** 財政運営と学校統廃合の関係を問う
- 問** 双峰・唐竹小の統廃合の結論はいつ出され、統合の答申が出た場合の実施時期は？
- 答** H29年夏ごろ答申が出る予定。時期は統合の結論が出た段階で決める。
- 問** 統合イメージ案が示されたが、必要なコストと財源の捻出方法は？
- 答** 教育の充実に力点を置き、統合による維持管理費の圧縮費用を充てる。
- 問** アセットによる他校の統廃合では、教育の充実はどうなるのか？
- 答** 教育の充実にこの両校で維持管理費の範囲で行う。両校だけ特別扱いする観点はない。
- 問** 統廃合について保護者は切実な思いを持っている。間米の宅地開発も本格化する。統廃合の結論を急いでよいのか？
- 答** 開発が実現したら、学区の編制を協議する。

一般質問

地域包括ケアシステムについて

近藤 善人 議員



- 問** 医療・介護給付費の推移と要支援1、2の人数とサービスの利用状況について。
- 答** 要支援1、2の認定者は、平成25年470名、26年485名、27年558名。介護給付費は、平成25年約33億円、平成26、27年約35億円。
- 問** 地域包括システムの構築について。
- 答** 認知症初期支援チームについては、昨春秋より試行的に実施。コーディネートについて、3名配置し、主に地域課題の発掘、地域で活躍している人材の発掘など重点的に行っている。
- 問** 地域ケア会議について。
- 答** 個別ケースについて、多職種による課題分析等を通じて地域支援のネットワークを構築し、自立支援に資するケアマネジメントを徹底する。
- 問** 医療と介護の連携について。
- 答** 医療と介護の連携に必要なのは、顔の見える関係づくりで、3年前から多職種の方が参加する研修を実施している。
- 問** 社会資源の発掘、人材の確保について。
- 答** 増え続ける高齢者の多様なニーズに応えるには、地域活動やボランティア活動などと連携して地域の人材を活用していくことが大切と考える。
- 問** 特別養護老人ホームなどの介護施設の現状と整備について。
- 答** 介護資源は施設系を中心に整備し、特別養護老人ホームが259床、老人保健施設が448床あり、施設系のサービス利用率は県平均を大幅に上回っている。
- 問** 介護予防・認知症予防について。
- 答** まちかど運動教室を13地区20会場で月2回から4回ほど開催し、延べ1200名程の参加者があり、好評を得ている。

一般質問

勅使水辺公園の周遊路の整備について マンホールカードによる豊明市のPRについて 市役所の窓口サービスについて

近藤 裕英 議員



- 問** 勅使水辺公園の周遊路の整備について。
- 答** 周遊路はベンチなどの休憩場所が少ないため、利用者から不便との声を聞きます。ご老人の散歩やリハビリとしての利用者もありますので、ベンチ等を増設する予定はあります。
- 問** 周遊路は約2・5キロあり、5カ所程度設置する予定です。
- 答** まず、平成29年の夏ごろにベンチを2カ所設置したいと考えています。
- 問** マンホールカードによる豊明市のPRについて。
- 答** 「下水道広報プラットフォームGKP」が企画しているマンホールカードが人気ですが、豊明市でも発行してPRに活用できませんか。
- 問** 市役所の窓口サービスについて。
- 答** 本市もGKPに加入していますので、市制45周年となる平成29年の8月1日から発行する予定です。カラーマンホールも来年度の早い時期に、設置を予定しています。
- 問** 窓口のスキルアップ・レベルアップを、どのように目指していくのか。
- 答** プロジェクトチームを編成して、よりよい市役所のあり方を検討しています。また、窓口対応についてご意見をいただく「お客様おもてなしアンケート」を実施していく予定です。
- 問** 市民課の窓口で転入者にお渡しする封筒の中に、市長のお礼の文を付け加えませんか。
- 答** ぜひともやっていきたいと思う。外国籍の転入者も多いので、シンプルな言葉であれば英語の併記なども工夫したい。

一般質問

補助金・交付金の見直しについて 特別支援教育支援員の報酬見直しについて

宮本 英彦 議員



- 問** 平成27年度決算における監査委員の講評「補助金・交付金にあつては、既得権としてその交付が常態化することがないよう目的・事業内容等を見直し、適正な事業計画書、実施報告書等の点検を図るとともに、補助事業者等の事業や運営状況を的確に把握されたい」に対する今後の対応について伺いたい。
- 答** 補助金について各課からの決算審査での報告だけではなく、さらに個別の団体に対し書面や面談での監査も実施している。監査委員からの厳しい指摘は、団体を支援する市として真摯に対応を行っていききたい。また、団体の活動を活性化し、自主性を確保しながらも市の行政全体への統制を果たすよう努める。
- 問** 補助金は市民の税金・事業者は、補助金をどう使用したのか市民への
- 答** 説明責任がある。HPで公表すべきと思うがどう考えるか。
- 答** 公表の必要性は感じている。
- 問** 支援員の報酬見直し
- 問** 教員免許を有する支援員の仕事は、支援を必要とする児童の生活等のサポートは勿論だが教員補助と同様、担任の授業をサポートしている。しかし、支援員の勤務時間は6・5時間で時間給は1240円。一方、教員補助の勤務時間は4時間で時間給は2940円。同一労働・同一賃金から問題がある。教員資格を有する支援員と教員補助の勤務時間・時間給の整合性を図るよう見直すべきと思うがいかがか。
- 答** 教員補助と支援員の報酬について、あり方も含め検討したい。また、近隣市町も調査したい。さらに、一度支援員の職務実態も調査したい。

一般質問

道路冠水について 文化会館の有効利用について 妊産褥婦および新生児への支援について

清水 義昭 議員



- 問** 道路冠水について。
- 答** 本年9月に清須市で道路冠水による事故が起きた。本市において冠水が懸念される場所は、15カ所ある。うち車両水没が懸念される場所は3カ所。
- 問** アンダーパスの水位を知る方法の現状は。
- 答** 現場へ見に行き目視で確認している。
- 問** 水位を知る新たな方法は考えられないか。
- 答** 遠方型の監視装置の設置も考えられる。
- 問** アンダーパスの冠水自動表示板については。
- 答** 栄町寺前にはあるが、新栄にはない。
- 問** 冠水時、アンダーパスへ車両の進入を防ぐ装置の導入については。
- 答** 今すぐに導入する予定はない。
- 問** 文化会館の有効利用について。
- 答** 平成29年度1年間、工事で大ホールと小ホールが使用できない。駐車場にスケートボード、自転車、ラジコンカーの練習場を設置できないか。
- 答** 現在、駐車場を他の目的に転用することは考えていない。
- 問** 談話室、茶室を保育所にする考えは。
- 答** 市の施設を使って小規模保育所を開設するという想定はしていない。
- 問** 妊産褥婦および新生児への支援について。
- 答** 産後健診2回分の補助を提案する。
- 問** 国や県内市町村の動向を見ながら研究する。
- 答** 1回目の新生児聴覚スクリーニング検査への助成を提案する。
- 答** 国や県の動きを注視していきたい。
- 問** ままさぼの申込みを電話ではなくスマートフォンで手軽に行えないか。
- 答** 国が行うマイナポータルで検討したい。

一般質問

地域の自主的な活動、活性化に向けて次のことを問う
・法人格をもった地縁団体について
・老人憩いの家について
豊明市土地利用における区画整理、開発等の状況について
杉浦 光男 議員



- 問** 法人格をもった地縁団体について。
- 答** 地縁団体が法人格を取得することにより、不動産等を初めとする資産を区、町内会名義で登記できることになる。法人格を得るためには①地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同生活を現に行っていること②規約を定めること③その区域の住所にある全ての個人が構成員になることができること（名簿の提出が義務づけられている）等が要件となっている。
- 問** 町内会の加入率は。
- 答** 町内会は130前後あるが、90%を超えているところが28、60%に満たない町内会は15である。
- 問** 公共施設マネジメントと老人憩いの家について。
- 答** 老人憩いの家が市内に27施設あり、近隣と比較しても非常に数が多く、その更新費用は約9億円かかる。老人憩いの家は
- 問** 子どもの職場体験先から自衛隊を外すべきでは？
- 答** 体験先を決定するにあたっては、本人の希望と保護者の同意で参加している。災害時に役に立つロープワーク、テントの設営などの職業訓練を受けており、他の職場と同様にキャリア教育が目指す望ましい勤労観、職業観を身に着ける場になっていると考えている。
- 問** 適正な学校教育とその配置について
- 答** 公立施設の総合管理計画からも統廃合は避けられない。超長期の視野で行い、小中一貫は建て替えのタイミングで捉えている。
- 問** 小中一貫教育と統廃合の結びつきはどう考えるか？
- 答** 公立施設の総合管理計画からも統廃合は避けられない。超長期の視野で行い、小中一貫は建て替えのタイミングで捉えている。
- 問** 地域活動に根づいた施設である。今後の在り方は地域で判断してもらう。
- 問** 老人憩いの家の無償譲渡と施設撤去について。
- 答** 継続して使用したい地域には、150万円を上限額として改修し譲渡する。撤去は、地域の意向により順次行う。
- 問** 土地利用の状況について
- 答** 住居系の寺池地区について土地区画整理法75条に基づく技術的援助申請が提出された。現在、地区界測量、愛知県との計画協議等、土地区画整理事業に向けた準備を進めている。間米南部地区は土地区画整理事業の検討のための仮同意書の取りまとめが行われた。産業系については、豊山周辺地区及び柿ノ木周辺地区において土地利用説明会を開催した。

一般質問

低所得の方が必要な介護を受けることができるように

郷右近 修 議員



- 問** これから先、たくさんの方が介護を必要とすることを見過して、特別養護老人ホームを整備するべきでは？
- 答** 施設に関して、すぐに対応することが難しいとは承知しているが、介護保険料に非常に影響が出てくるのが予想されるので、需要を見ながら慎重に考えてゆく。
- 問** 介護老人保健施設の利用料を助成し、経済的負担の軽減策を充実させるべきでは？
- 答** 低所得者へ食費・居住費の補足給付や社会福祉法人等による軽減措置、市独自で国基準よりも保険料率を引き下げている。これらの軽減策で支援をしていきたい。
- 問** 子どもたちの教育環境と平和の問題について
- 問** 自衛隊は安本法制に基づいて海外に行き、武器を使った戦闘の可能性も現実のものになった。
- 問** 子どもの職場体験先から自衛隊を外すべきでは？
- 答** 体験先を決定するにあたっては、本人の希望と保護者の同意で参加している。災害時に役に立つロープワーク、テントの設営などの職業訓練を受けており、他の職場と同様にキャリア教育が目指す望ましい勤労観、職業観を身に着ける場になっていると考えている。
- 問** 適正な学校教育とその配置について
- 答** 公立施設の総合管理計画からも統廃合は避けられない。超長期の視野で行い、小中一貫は建て替えのタイミングで捉えている。
- 問** 小中一貫教育と統廃合の結びつきはどう考えるか？
- 答** 公立施設の総合管理計画からも統廃合は避けられない。超長期の視野で行い、小中一貫は建て替えのタイミングで捉えている。
- 問** 地域活動に根づいた施設である。今後の在り方は地域で判断してもらう。
- 問** 老人憩いの家の無償譲渡と施設撤去について。
- 答** 継続して使用したい地域には、150万円を上限額として改修し譲渡する。撤去は、地域の意向により順次行う。
- 問** 土地利用の状況について
- 答** 住居系の寺池地区について土地区画整理法75条に基づく技術的援助申請が提出された。現在、地区界測量、愛知県との計画協議等、土地区画整理事業に向けた準備を進めている。間米南部地区は土地区画整理事業の検討のための仮同意書の取りまとめが行われた。産業系については、豊山周辺地区及び柿ノ木周辺地区において土地利用説明会を開催した。



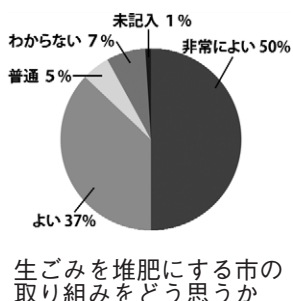
一般質問

豊根村で風力発電を

富永 秀一 議員



- 問** 友好自治体である豊根村の風力資源は豊富。5kWの風車を10基建てた場合年間8億円の利益になる。豊根村も当市も共に豊かになるために研究し打診してみる考えは。
- 答** 現在は考えていない。
- 問** 生ごみ分別収集をただやめてしまっただけ
- 問** 生ごみは燃えるごみとして捨てられると、水分が多いので焼却炉で大量の燃料を使う必要がある。堆肥化すると田や畑のミネラルを産地に戻す資源循環の効果もある。
- 答** 平成24年のアンケートでは、生ごみを堆肥にする市の取り組みについて、非常に良いが50%、良いが37%と圧倒的に多数の方が支持している。
- 問** そんな事業をやめるのに市民アンケートなど丁寧な手順を飛ばしてあっさり結論を出したのは。
- 答** 事業の意義については検討していない。コスト
- 問** 国は、11月に大規模災害に対する全国瞬時警報システムの訓練を行ったが、豊明市では不具合が生じなかったか。
- 答** 豊明市内7施設で放送が聞き取れなかった。今後は注意喚起したい。
- 問** 阿野南・西町内会でも造住宅へ耐震ローラー作戦が行われた。そこで耐震シエルターへの関心が高い家庭が多かった。シエルターの啓発は。
- 答** 重点地域の市民に耐震シエルターを見ていただく方向で検討したい。
- 問** HUG（避難所運営ゲーム）を体験していない人に対してどのように体験してもらうべきか。
- 答** 避難所運営など幅広い知識が得られると思うので、平成33年度までにすべての小学校区で訓練を行う計画である。
- 問** 台風時の下校時間の指導を（タイムライン）
- 問** 台風16号では、下校
- 問** 面から早々に決断した。バイオガス発電施設に持ち込む考えは。
- 答** 収集運搬費用が高額になるため考えていない。
- 問** 低入札価格調査制度は
- 答** 決算審査で、入札した4社ともが最低制限価格以下となって成立せず、後日、倍近くの価格で落札されたことが判明した。一定の金額以下でもすぐには失格にしないで、低い価格の入札者から履行できるかを調査する、低入札価格調査制度を導入しては。
- 問** 導入団体での効果について研究してみたい。
- 問** 核家族化、高齢者世帯の増加から空き家条例制定の調査中と聞く。当市においても、一部問題が生じかけているので、問題が大きくなる前に、ごみ屋敷条例の制定を要望するが、当局の考えは。
- 答** 他の自治体の例を見ながら、調査研究しなければならぬという認識を持って、取り組んでいきたい。
- 問** 時間的に統一性がなく横殴りの雨が降っている時間帯に、下校となり問題となった。学校単位の判断ではなく、防災防犯対策室と協議して時間を統一すべきではないか。
- 答** 対応がまずかったと考えている。今後は学校長一人に委ねるのではなく、行政と教育委員会と一緒に、空振りでもないいで安心・安全な方向で進めていきたい。
- 問** ごみ屋敷条例制定について
- 問** 核家族化、高齢者世帯の増加から空き家条例制定の調査中と聞く。当市においても、一部問題が生じかけているので、問題が大きくなる前に、ごみ屋敷条例の制定を要望するが、当局の考えは。
- 答** 他の自治体の例を見ながら、調査研究しなければならぬという認識を持って、取り組んでいきたい。



その他、待機児童対策についてと、防災上の課題について聞きました。

福祉文教委員会行政視察

視察日：平成28年10月31日～11月2日

視察先：香川県丸亀市・高知県高知市・兵庫県姫路市

委員長：ふじえ真理子 副委員長：宮本英彦
委員：蟹井智行 近藤郁子 山盛さちえ
三浦桂司 一色美智子

①丸亀市：介護予防コミ
ユニティ事業について
地域全体が認知症への理解を深め、認知症にならないため、住民の自主的な活動を通して地域ぐるみで介護予防を推進する事業。介護予防教室、広報紙の発行、生涯学習の推進などの事業を行い、地域の課題解決に取り組んでいる。認知症に対する理解だけでなく、地域の人の横のつながりや地域の自主的な活動が広がったと評価。本市においても行政からの指示ではなく地域自治をベースにした事業展開が必要だと考えられる。

②高知市：生活困窮者自立支援事業について
高知市は生活保護率が37・7%と高いことから平成25年高知市生活支援相談センターを設立。社福協・職安・市若者サポートセンターで構成する生活困窮者自立支援事業運営協議会を設立し運営

.....

建設消防委員会行政視察

視察日：平成28年11月7日～9日

視察先：東京都大田区・葛飾区・神奈川県藤沢市

委員長：毛受明宏
委員：富永秀一 清水義昭 近藤善人
村山金敏

①東京都大田区：IoTを活用した仲間まわしによる中小企業の生産性向上プロジェクトについて
大田区は、ものづくり中小企業のまちとして、工業製品の基盤的産業技術が集積し、金属部品加工製造により多様な製品を支えている。中小企業の製造加工ネットワークにIoT（モノのインターネット化）の視野を入れて生産性ネットワークへ進化させ、生産性向上と受注生産の活発化を図っている。

②東京都葛飾区：空き家対策について
葛飾区は、平成27年5月に「空き家対策特別措置法」施行後、所有者が特定される特定空き家に対して、全国で初めて行政代執行を実施。行政代執行された特定空き家は傾き、壁面が大きく崩れ、長年根気強く交渉を試みたが、近隣住民などへ悪影響を与えており、行政関与が必要と判断し対応を行った。当市でもその判断をする時が来るかも知れないため参考になった。

.....

議会運営委員会行政視察

視察日：平成28年10月11日～12日

視察先：埼玉県所沢市・飯能市

委員長：毛受明宏 副委員長：早川直彦
委員：富永秀一 鵜飼貞雄 蟹井智行
宮本英彦 ふじえ真理子 近藤千鶴

①埼玉県所沢市：議会改革について
所沢市議会は平成21年に議会基本条例を制定し、その後に議会報告会や政策討論会などを積極的に実施。施行されてから6年が経過し、市民の要望や社会情勢の変化を勘案し、見直しを行った。特別委員会では条項ごとに検討して全会一致となったものを条例改正した。議会報告会は、4班に別れ毎年4回実施している。

②埼玉県飯能市：議会のICT化の取組について
飯能市では平成22年より環境に配慮した活動を推進しており、議会としても議会改革検討会を設置してペーパーレス会議を推進。タブレットを有効活用することにより、全員協議会や本会議などで紙の使用量削減に努めた。費用削減効果は年間約210万円、紙使用量削減枚数は年間約10万枚。その他の導入効果は議会内での情報伝達をメール配信することによる事務改善や災害時の緊急連絡など情報伝達の迅速化。政務調査活動で先進事例を調べたり、各種情報を閲覧できたりする。当市においても、12月議会より自己所有のタブレット等を議場に持ち込む試行を行っているので運用の参考としたい。

.....

総務委員会行政視察

視察日：平成28年10月25日～27日

視察先：山口県下関市・福岡県筑紫野市・小郡市

委員長：近藤千鶴 副委員長：鵜飼貞雄
委員：郷右近修 後藤 学 早川直彦
杉浦光男 月岡修一

①山口県下関市：住民自治によるまちづくり推進計画について
下関市では、合併による市域の拡大に合わせ、各地域が住民自治によりそれぞれの実情に応じたまちづくりができるよう、協議会を発足し、人的・財政的支援をしてきた。役員の力不足、既存団体との調整など課題は多いが、住民の自治意識には変化がみられるとのこと。

②福岡県筑紫野市：外部評価事業について
筑紫野市では、効率的に事業の成果をあげるため、職員による内部評価を実施。近年は、有識者公募市民7人からなる外部評価委員会も設置し、率直な評価で事業の見直しや廃止、改善がなされている。

.....

